

令和6年度島根県障がい福祉分野のICT導入モデル事業(事業報告)

社会福祉法人親和会 障がい者支援施設ふたばでは「令和6年度島根県障がい福祉分野のICTモデル事業補助金」を活用し、就労継続支援B型事業における業務の改善等を実施しました。

●モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

就労継続支援B型作業の迅速化の為、以下の機器等を導入

タブレット(マウス)	1
記録・情報共有・請求関連業務ソフト	1
Wi-Fi・ルーター(無線LANアクセスポイント)	5
Wi-Fi・ルーター(スマートスイッチ)	3

※Wi-Fi回線の整備(独自)

●課題・方法

作業棟での支援記録作成、ベーカリーの製造表作成、弁当の食品表示ラベル入力がスムーズに出来ないかスタッフ間及び他部署スタッフとも検討。記録・情報共有・請求関連業務ソフトを納入している業者へ相談し、Wi-Fi環境を整える検討をした（作業棟が別棟となっており、配線等も必要な為）。建物が防火壁で区切られていることもあり、配線が難しくいくつかの業者に見てもらった。既存のノートパソコン無線化も検討した。

○作業棟にWi-Fi環境が整っていない。現在、支援記録等を入力できるパソコンの台数に限りがある。また使用場所がLANケーブルでの接続のため場所が限られており、入力できる場所へ行く必要がある。（その場で紙に記録した物をパソコンのある場所まで持って行き入力することもある）。また、食品製造・店舗経営の為、その都度作業着を着替え直し、持ち場を離れて入力作業を行う必要がある。そのため、業務が落ち着いてから入力作業を行っており、パソコン待ちの時間も出来ている。

○勤務時間等もまちまちで(早番、遅番)、その場で共有の申し送りの入力や確認ができない(一旦印刷をしたものを紙ベースで配布して確認している)(各自確認する時間もまちまちである)。

●導入業務内容

○Wi-Fi環境を整えることで、支援記録・日誌入力等の入力作業をリアルタイムで行うことが出来る。また、製造予定表（月～土）作成（パン）作業や食品表示ラベル入力（パン）(弁当、惣菜)作業等も作業棟で入力することが出来る。

○作業場所において、その場でリアルタイムで共有の申し送りの入力や確認ができる。

●効果・状況

○Wi-Fi環境を整えたことにより、支援記録・日誌入力等の入力作業をリアルタイムで行うことができ、着替えや移動にかかっていた時間を作業支援等に充てることが出来た。

○製造予定表（月～土）作成（パン）作業や食品表示ラベル入力（パン）(弁当、惣菜)作業をその場で入力することができ、即時の訂正や印刷も可能となった。

○作業支援を行いながら、リアルタイムで共有の申し送りの入力や確認ができた。

スタッフの業務負担や利用者支援の充実を図ることができ、「令和6年度島根県障がい福祉分野のICT導入モデル事業」を活用させていただきありがとうございました。

令和6年度ICT導入モデル補助金(活用事例報告)